


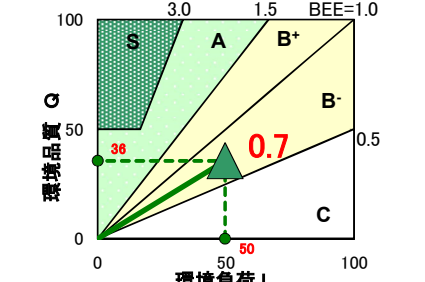
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)--マンション新築工事	階数	地上9F
建設地	大阪府堺市堺区中之町東一丁目26-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年2月14日
敷地面積	631㎡	作成者	生和コーポレーション(株)須口真樹
建築面積	309㎡	確認日	2023年2月14日
延床面積	2,078㎡	確認者	生和コーポレーション(株)塩谷光生



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

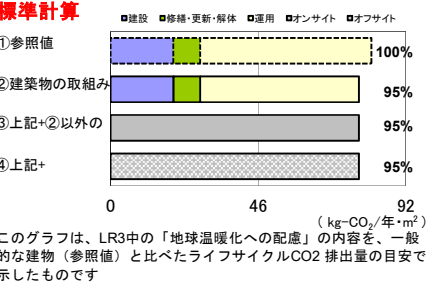
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

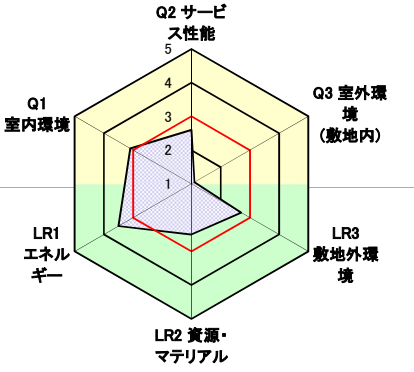
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



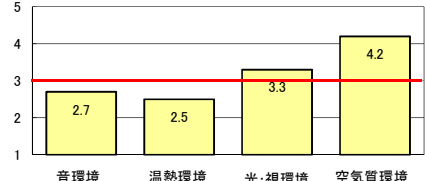
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.4

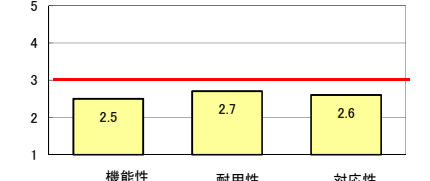
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1



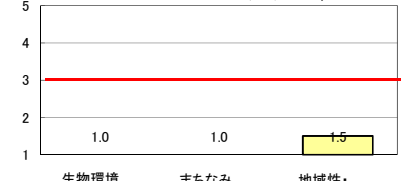
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

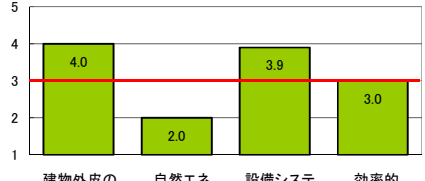


LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.0

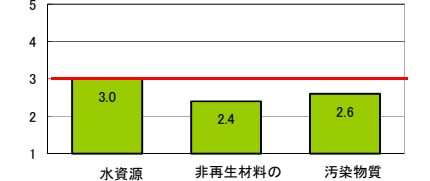
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5



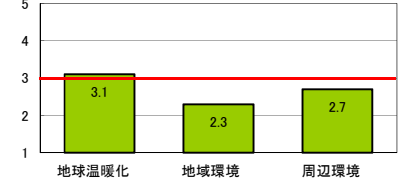
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7



3 設計上の配慮事項

総合	その他
建築物省エネ法に適合させ、建築物の省エネルギー化を図っている。 仕上材には耐久性の高い建材を採用し、耐久性を高めている。	特に無し。
Q1 室内環境 建築物省エネ法に適合させ、住戸の断熱性を確保している。 住戸の内装材は全てF☆☆☆☆を使用し、市内汚染を防止している。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー 建築物省エネ法に適合させ、建築物の断熱化、省エネルギー化を図っている。	LR3 敷地外環境 建築物省エネ法に適合させ、LLCo2低減を図っている。
Q2 サービス性能 外壁仕上材に磁器質タイルを使用し、躯体の耐久性を確保している。 内装仕上材に硬質塩ビタイル、ビニルクロスを使用し、仕上材の耐久性を確保している。	
LR2 資源・マテリアル 特に無し。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)マンション新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区中之町東一丁26-2、28、29-1、29-2、30-2、31-2	0.7	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 2,077.64 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
エネルギー削減	4	● ● ● ● ●
建物の断熱性	4	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア			
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.1	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.9	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	1.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	2.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	建築物省エネ法に適合させ、建築物の省エネルギー化を図っている。